

## 新武道館整備基本計画策定業務について

## 1 経過

- ・現武道館は築46年が経過、老朽化や特定天井の改修など法定を含む大規模改修が必要
- ・近隣への騒音や駐車場不足、空調設備未設置による熱中症対策などが課題
- ・浜松市剣道連盟等の利用団体からも建替えについて要望あり
- ・令和5年度、新武道館整備基本計画において、施設規模及び建設地を調査

## 2 概要

- ・新たな武道館は、武道競技のほかパラスポーツなど多種目スポーツが可能な施設を想定  
※支柱用の床金具等は非設置を想定（卓球、フットサル、新体操、バスケットなど）
- ・プロチームや興行などプロフィット化を軸とする浜松アリーナ利用者の受入先の一つとしても想定
- ・建設地については、既存スポーツ施設の同敷地内又は隣接地等で、必要面積の確保が可能と想定される、雄踏町（雄踏総合公園）、増楽町（可美総合公園）、篠原町（トビオ北側）を候補として整理（敷地面積の確保、公共交通機関の利便性など）

## 3 整備案について

## (1) 新武道館について（別紙）

A案）メインアリーナ 56m×35m（剣道8面）＋ サブアリーナ 35m×35m（剣道4面）

B案）メインアリーナ 56m×42m（剣道12面）＋ サブアリーナ 35m×35m（剣道4面）

※サブアリーナは柔道場（4面）を兼ねる

## 【施設概要】

項目	A案	B案※
概算工事費	49.9億円	53.5億円
建築面積	5,602㎡	6,064㎡
延床面積	7,294㎡	7,847㎡
観客席数	固定：903席（車いす用：15席） 仮設：1,344席	固定：983席（車いす用：15席） 仮設：1,680席
他競技利用の面数	フットサル1面、ハンドボール1面、 新体操6面、卓球20台、 ボッチャ9面、ゴールボール3面	フットサル2面、ハンドボール2面、 新体操9面、卓球24台、 ボッチャ10面、ゴールボール3面
駐車台数	一般車両335台、大型バス20台、 多目的6台	一般車両310台、大型バス20台、 多目的6台

◎共通：運営経費：9千万円/年間（サーラグリーンアリーナ程度を想定）

◎A案については、ロールバック席を追加した場合：800席の拡大可能（約2.4億円増）

【参考：既存の浜松武道館・静岡県武道館との比較】

	建築面積	延床面積	競技面積	座席数	駐車台数
浜松武道館	1,628.12 m <sup>2</sup>	2,056.82 m <sup>2</sup>	4面	400席	130台
静岡県武道館	-	12,914.00 m <sup>2</sup>	10面	2,440席	105台

※静岡県武道館：競技面積・座席数は、大道場・第一道場・第二道場を合算した数

【参考：市内体育館とのメインアリーナ面積比較】

	浜松アリーナ	▼ B案:2,352 m <sup>2</sup>	▼ A案:1,960 m <sup>2</sup>	
	浜松アリーナ	サーラグリーンアリーナ	引佐総合体育館	雄踏総合体育館
メイン	65×44m (2,860 m <sup>2</sup> )	53×38m (2,014 m <sup>2</sup> )	50×35m (1,750 m <sup>2</sup> )	33×47m (1,551 m <sup>2</sup> )
サブ	40×34m (1,360 m <sup>2</sup> )	31×27m (837 m <sup>2</sup> )	55×22m (1,210 m <sup>2</sup> )	17×24m (408 m <sup>2</sup> )
観客席	3,544席 (ロールバック1,056席)	1,060席	570席	464席

(2) 候補地について

【必要面積の整理】

① 新武道館の建築用地面積 (約 50,000 m<sup>2</sup>)

→算定した新武道館の建築面積約 6,000 m<sup>2</sup>に対し、3 候補地がいずれも都市計画公園で建蔽率 12%と指定されていることから建築用地として必要な敷地面積は最低約 50,000 m<sup>2</sup>で設定

② 新武道館に必要な最大駐車場面積 (約 13,400 m<sup>2</sup>)

→各団体の大会時の利用を最大 (ピーク) と想定した場合に必要な駐車場面積を約 13,400 m<sup>2</sup>で設定

合計 63,400 m<sup>2</sup>

【条件の整理】 ※調査結果を基にスポーツ振興課で整理

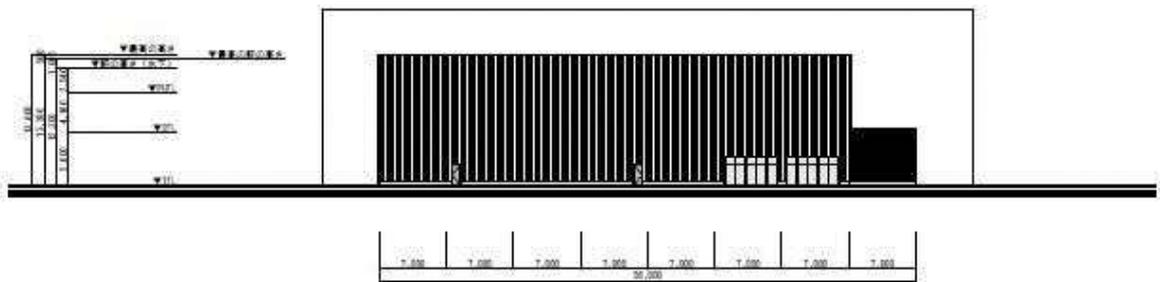
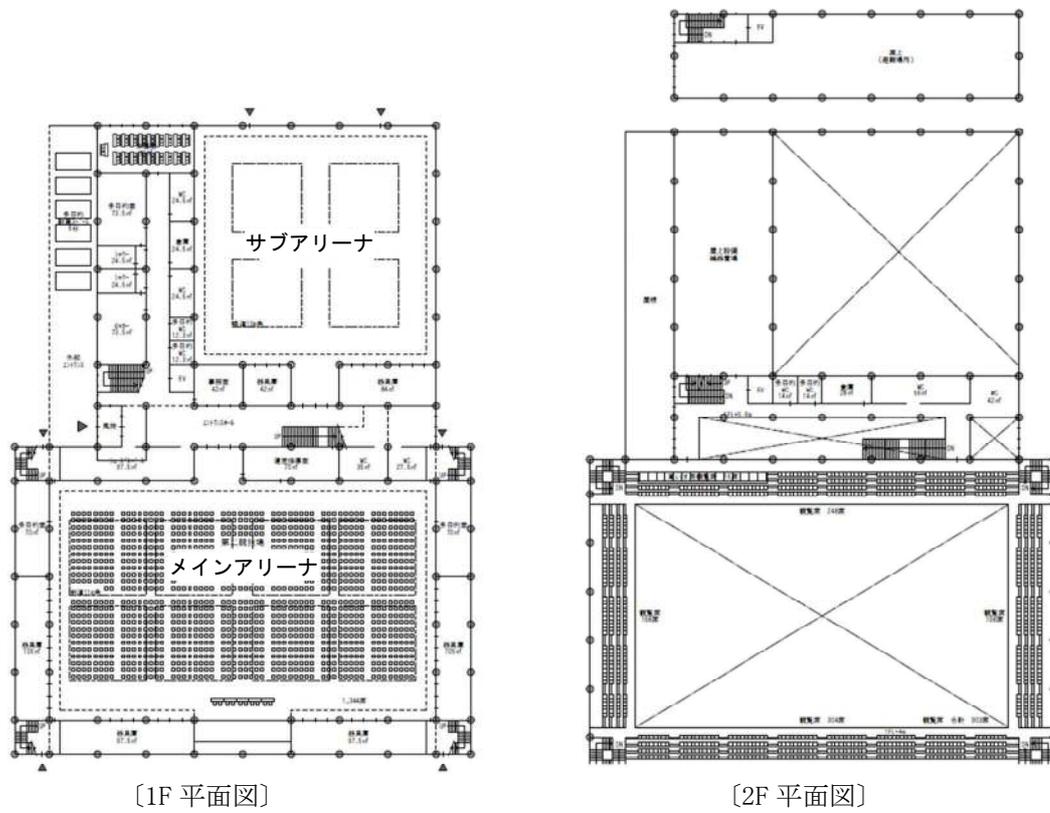
判定項目		雄踏町 (雄踏総合公園)	増楽町 (可美総合公園)	篠原町 (トピオ北側)
用地の確保		公園内の既存施設の廃止及び用途変更等による確保が必要	公園内の既存施設の廃止及び用途変更等による確保が必要	事業認可の変更等により確保可能
建築面積の確保		残建築面積は約 19,000 m <sup>2</sup> であり、確保可能	残建築面積は約 7,000 m <sup>2</sup> であり、確保可能	建蔽率の見直し等により確保が必要
公共交通機関の利便性	最寄り駅	JR 舞阪駅から車*で約 6 分の移動時間	JR 高塚駅から車*で約 3 分の移動時間	JR 高塚駅から車*で約 5 分の移動時間
	最寄りバス停留所	近傍に 1 箇所のバス停留所あり 時間当たり平均運行本数は平日 0.58、休日 0.60	近傍に 1 箇所のバス停留所あり 時間当たり平均運行本数は平日 0.67、休日 0.53	近傍に 1 箇所のバス停留所あり 時間当たり平均運行本数は平日、休日とも同ダイヤで 0.48

\* 自動車移動距離 (郊外) : 約 420m と想定

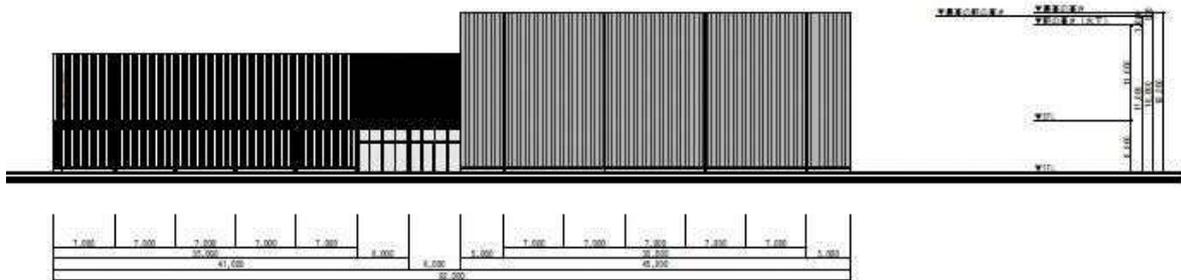
4 今後の進め方 (令和 6 年度)

- ・令和 5 年度基本構想に基づき、発注支援業務の中で規模や建設地などを最終検討
- ・浜松アリーナ、他の体育館改修などによる休館期間等を勘案、大会を含む利用者への影響が最小限となるようスケジュールを調整

[A案：メインアリーナ8面+サブアリーナ4面]



[短辺方向 立面図]



[長辺方向 立面図]

図1 モデルプラン (A案)





[イメージパース]

図3 モデルプラン（B案）

※モデルプラン（A案）は、B案より長辺方向のスパンが短くなるが、外観イメージは大きく変わらない。